

アングル式

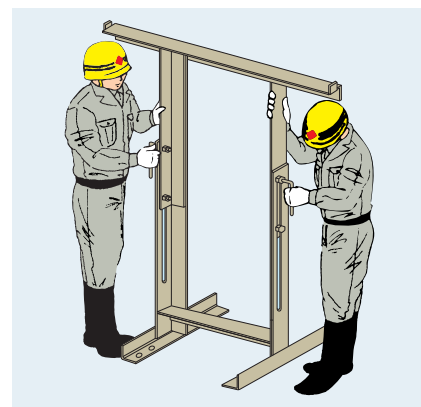
ベースマン[®] 門型

地中梁鉄筋組立架台

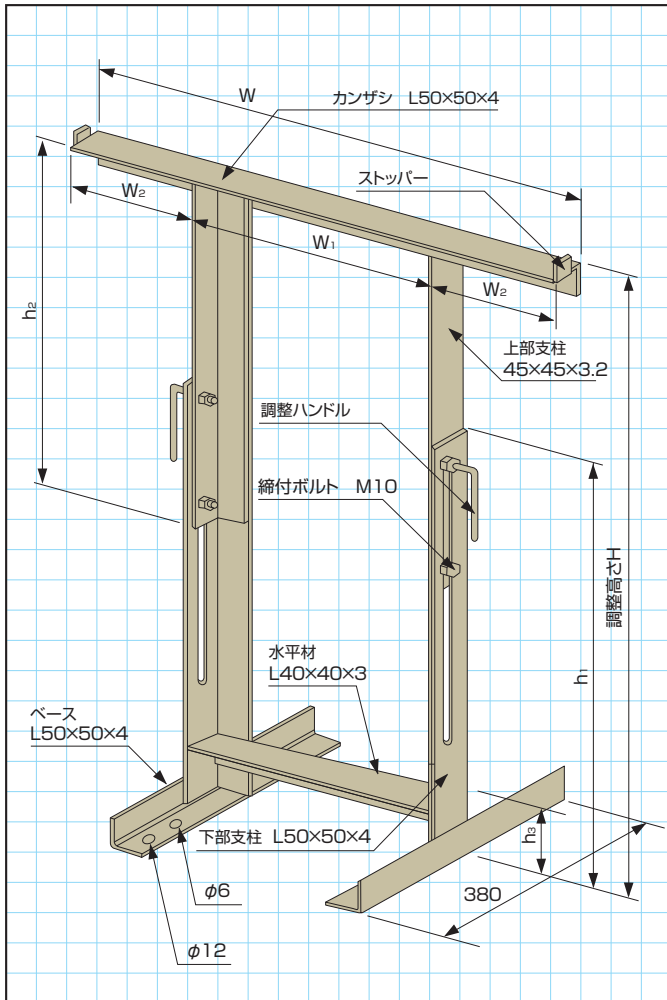


特徴

- 梁巾は2mまで対応できます。
- 高さ調整は3.45mまで対応できます。
- 調整ハンドルにより微調整が容易となり、締付けボルトにより固定が確実に行なえます。
- 梁せいの高い場合でも手元の調整ハンドルで容易に調整可能です。



型式と許容荷重



[調整高さHについて]

H=梁せいー(かぶり厚さ+上端主筋径+スターラップ径)

型式	調整高さH(mm)	h1(mm)	h2(mm)	許容荷重
BG-7	655~850	605	450	8.82kN (900kgf)
BG-9	800~1050		650	
BG-11	1000~1250		850	
BG-13	1200~1450	910	745	
BG-15	1400~1650		945	
BG-17	1600~1850		1145	
BG-19	1800~2050	1370	885	
BG-21	2000~2250		1085	
BG-23	2200~2450	1825	830	
BG-25	2400~2650		1030	
BG-27	2600~2850		1230	
BG-29	2800~3050		1430	
BG-31	3000~3250		1630	
BG-33	3200~3450		1830	7.84kN(800kgf)

★カンザシ巾に対する支柱の標準位置

W(カンザシ)(mm)	W1(mm)	W2(mm)
700~800	550	(W-550)/2
801~1,200	600	(W-600)/2
1,201~1,600	800	(W-800)/2
1,601~2,000	W/2	W/4

★水平材の標準高さ

型式	h3(mm)
BG21以下	50
BG23~33	1,750

⚠ 注意事項

- ベースマン門型1台あたりに許容される鉛直荷重は、上記に示す「許容荷重」以下となります。
- ベースマン門型の配列は、必ずベースマン門型の天端レベルを合わせ、均等に荷重を受けるようにしてください。
- ベースマン門型の建入れ、および修正作業は配筋作業前にしてください。
- ベースマン門型を作業足場として使用しないでください。
- 配置の注意
 - ・ ベースマン門型は、許容荷重以下となる間隔で配置してください。
 - ・ 梁筋の交差部や柱周りは、配筋の支持が複雑になりますので、必ず荷重の検討を行った上で、配置をしてください。
 - ・ ベース取付位置の捨コン天端は、水平に仕上げてください。
 - ・ 捨コンの養生期間は所定のアンカー強度が得られるコンクリート圧縮強度に達するまでとしてください。
 - ・ ベースは必ずM10のアンカーで4ヶ所固定してください。
 - ・ 締付ボルトは締付トルク値2.94kN・cm(300kgf・cm)程度で締付けてください。振動等で緩むおそれがある場合は、溶接による補強を行ってください。
 - ・ ベースマン門型の各部材、特に上部支柱、下部支柱、水平材が配筋に接触していないか確認してください。各部材の標準寸法の変更が必要なおきはお問合せください。

ご注文方法

- 型式を指定してください。
- カンザシ巾を指定してください。
- 特注サイズは、ご注文時にお問い合わせください。



岡部株式会社

〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2
TEL 03-3621-1611 FAX 03-3621-1616
https://www.okabe.co.jp

● 特約店